

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 7 区分

【発行日】平成 29 年 5 月 25 日 (2017.5.25)

【公開番号】特開 2015-196591 (P2015-196591A)

【公開日】平成 27 年 11 月 9 日 (2015.11.9)

【年通号数】公開・登録公報 2015-069

【出願番号】特願 2014-76747 (P2014-76747)

【国際特許分類】

**B 6 5 H 3/56 (2006.01)**

**B 6 5 H 1/04 (2006.01)**

【F I】

B 6 5 H 3/56 3 3 0 S

B 6 5 H 1/04 3 2 6 A

【手続補正書】

【提出日】平成 29 年 3 月 31 日 (2017.3.31)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 3 1】

なお、図 3 において、30 はシートを案内する上方に湾曲した搬送ガイド、29 は搬送ガイド 30 に沿って給送されるシートを停止させることが可能なシャッタ部材である。このシャッタ部材 29 は不図示のフレームにより回転自在に支持された図 4 に示す軸 29 D を中心に回転自在となっている。また、シャッタ部材 29 の一端には、シート搬送路 R に出没可能に突出して給送されるシートを一時的に停止させるための当接部 29 A, 29 B が設けられている。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 4 0】

次に、シート給送装置 100 D のシート給送動作について説明する。図 7 の (b) は、シート給送装置 100 D のシート給送前の初期状態を示しており、このとき、回動部材 27 は下降した状態となっており、分離部材 21 はピックアップローラ 20 と離間した状態となっている。画像形成動作が開始されると、CPU 300 は画像形成部 100 B での画像書き込み開始信号に基づき、中間転写ベルト 5 上に転写されたトナー像が 2 次転写部 T2 に到達するときにシート P が 2 次転写部 T2 に達するタイミングでクラッチ 304 を ON する。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 4 2】

これにより、図 7 の (a) に示すように、それまで押し下げ部材 34 により圧縮バネ 33 に抗して押し下げられていた支持部材 25 が上昇し、分離部材 21 がピックアップロー

ラ 2 0 に当接する。この後、回動部材 2 7 は、シート P がピックアップローラ 2 0 と当接するまで上昇し、シート P はピックアップローラ 2 0 によってピックアップされる。なお、図 8 は、このときのタイミングチャートである。

【手続補正 4】

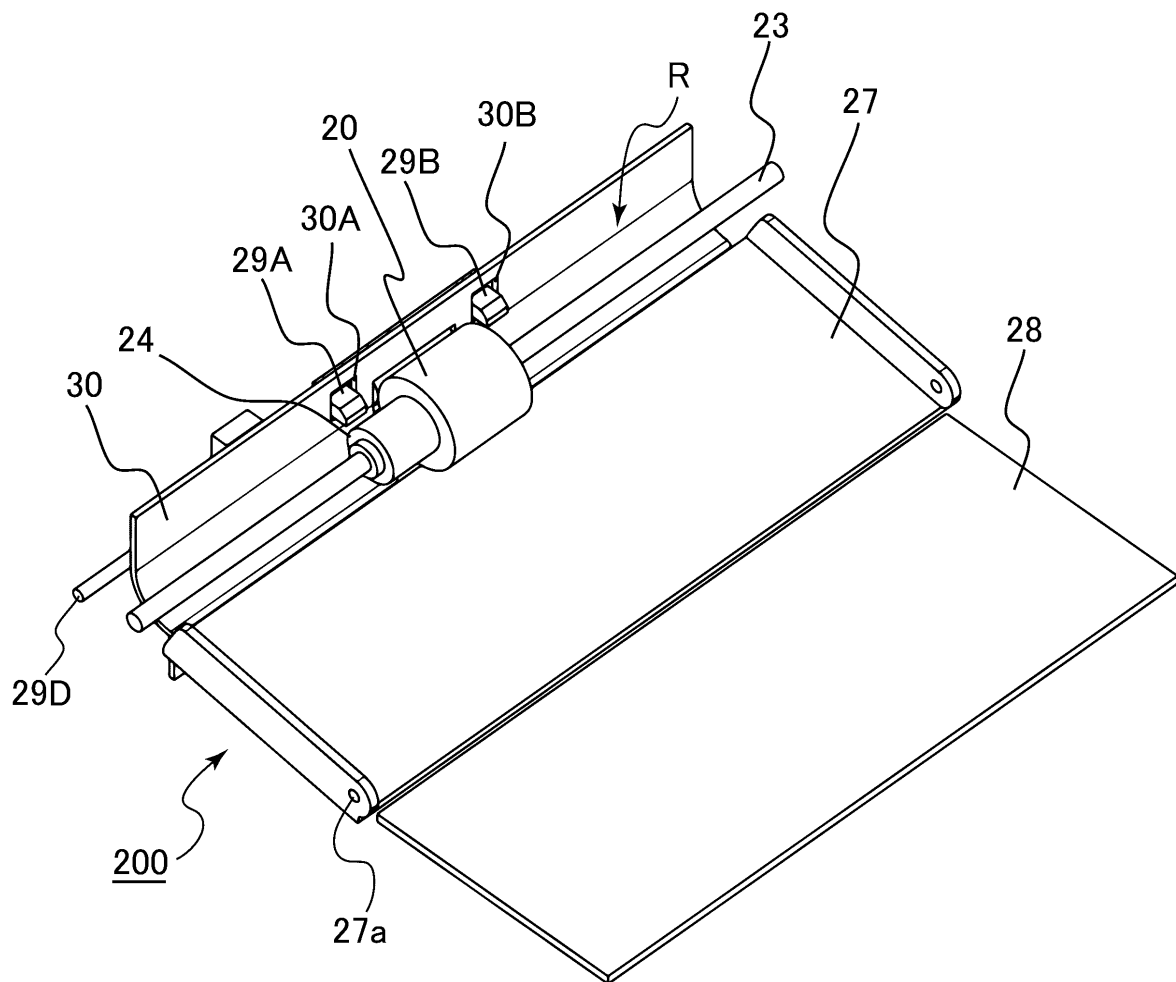
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 図 4 】



【手続補正 5】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 5】

